

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90242	日本芸術批評史研究A (奇数年度開講)	2単位 前期	1・2	講義	小林 純子

■テーマ 日本の芸術論と美術史

■授業の概要

日本の画論・芸術論を講読し、美術にまつわる価値の創造とその変化について考究します。また明確な史観を持って記述された画史を読み、史観の変遷や美術史における歴史叙述の方法について考えます。本年はテキストに狩野安信『画道要訣』、田能村竹田『山中人饒舌』、岡倉天心『東洋の理想』、柳宗悦『琉球の富』等を用いる予定ですが、受講生の専攻分野を考慮して変更する可能性があります。また各自一編の芸術批評を選び、それについて口頭で成果を発表し、さらにレポートを書いて学期末に提出してもらいます。

■到達目標

- ・日本の芸術論を批判的に読み、問いを設定することができる。
- ・文献資料、作品等を調査し、得た知識をもとに問いを解決することができる。
- ・自説を持ち、それを合理的に論述することができる。
- ・先行研究を正しく参照し、かつ新知見を提示することができる。

■授業計画・方法

1. オリエンテーション、日本の画史・画論・芸術論について
2. 狩野安信『画道要訣』、狩野派について
3. 狩野安信『画道要訣』、狩野派の画論について
4. 狩野安信『画道要訣』、狩野安信の絵画観について
5. 田能村竹田『山中人饒舌』、文人画について
6. 田能村竹田『山中人饒舌』、田能村竹田について
7. 田能村竹田『山中人饒舌』、田能村竹田の絵画観について
8. 岡倉天心『東洋の理想』、近代の芸術思想について
9. 岡倉天心『東洋の理想』、岡倉天心について
10. 岡倉天心『東洋の理想』、岡倉天心の芸術観について
11. 柳宗悦『琉球の富』、民芸思想について
12. 柳宗悦『琉球の富』、柳宗悦について
13. 柳宗悦『琉球の富』、柳宗悦の沖縄芸術観について
14. 発表の準備
15. 口頭発表、質疑応答
定期試験は実施しない。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・毎回授業で進捗状況を報告してもらうので、継続的に調査研究する時間をとること。

■成績評価の方法・基準

□方法

平常点 (20%)、口頭発表 (20%)、学期末レポート (80%) で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究科 (博士課程) の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献 (資料) 等

□教科書：特になし

□テキスト：購読する文献を授業中に配布する。

□参考文献：下記の参考文献は芸術学専攻と大学附属図書館が所蔵している。

- 安村敏信編『定本 日本絵画論大成 第4巻 画道要訣ほか』ペリかん社、1997年
 高橋博巳編『定本 日本絵画論大成 第7巻 山中人饒舌ほか』ペリかん社、1996年
 岡倉覚三著、隈元謙次郎ほか編『岡倉天心全集』平凡社、1979-1981年